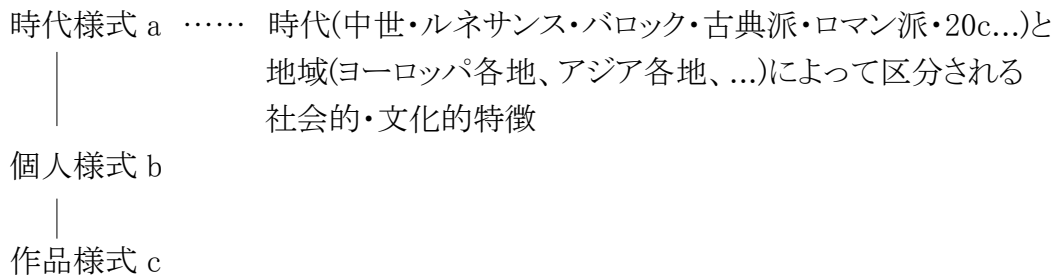


【別紙資料】

＜音楽史の捉え方＞

個々の作品は個人 → 時代に含まれる

◎様式 style …… そのものに固有な本質的特徴



ex. 後期ロマン主義のチェコの スメタナの 《わが祖国》

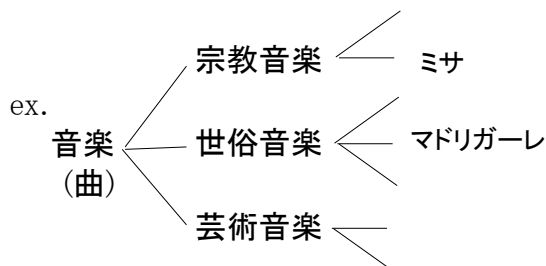
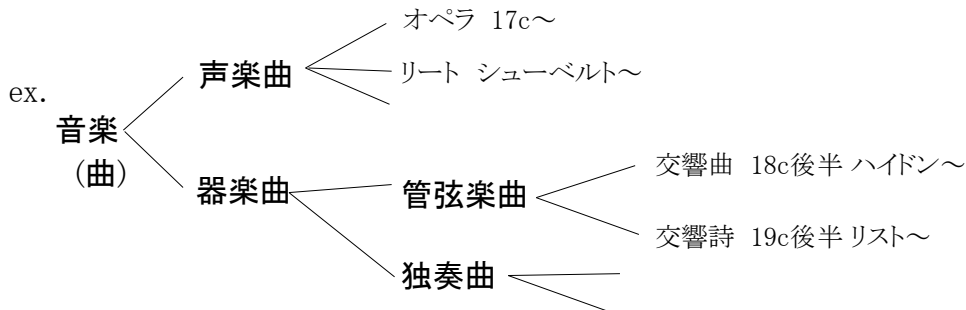
↑  
当時の政情、民族主義 etc.

◎ジャンル (分類) …… 個々の作品は様々な観点※により  
大きな分類から小さな分類へ分けられる

※観点：歴史的観点が重要

どの時代に(誰によって)そのジャンルが創始され、  
どのような様式を持つのか。  
ただし、その後の変遷にも注意

- ・演奏形態(楽器) …… ア・カペラ、コンチェルトグロッソ etc.
- ・作曲技法 …… カノン、フーガ、変奏 etc.
- ・楽曲形式(構造) …… ロンド形式、ソナタ形式(交響曲) etc.
- ・
- ・
- ・
- etc.



< Exercise >

- バロックの時代様式について思い描いてみよう
  
- バロックのドイツの作曲家と作品を挙げよう
  
- ベートーヴェンの個人様式から浮かぶ言葉を言ってみよう
  
- ショパンの『英雄ポロネーズ』の作品様式から浮かぶ言葉を言ってみよう
  
- 演奏形態 ・ 作曲技法 ・ 楽曲形式 の例を挙げてみよう
  
- ジャンルの樹形図を作ってみよう

・音楽  
（曲）